

テモテへの手紙一：学びの手引き

教会の教えと共同生活を、信頼できるものにするのは何ですか。

テモテへの手紙一は、有害な教えに直面する教会の生活について、テモテへの指示を示します。祈り、信頼できる指導、弱い立場の人への配慮、貪欲の危険が関心に含まれます。健全な教えは、それが生む愛と敬虔によっても評価されます。牧会的な目的の中で難しい指示を読み、特に女性の教えと指導をめぐる適用では、キリスト者間に深い意見の違いがあると認めましょう。

背景の中で手紙を読む

手紙はパウロの名を挙げ、テモテの働きをエフェソに置きます。伝統的には使徒言行録が語る期間後の働きとされますが、多くの研究者はパウロの伝統内での後代の執筆を提案します。そのため旅程と年代には留保が必要です。テモテへの手紙二、テトスへの手紙と共に牧会書簡と呼ばれます。これは教え、指導、家庭生活への共通の関心を捉えた、後代の分類です。

聖書の参照箇所: テモテへの手紙一 1章1～7節・テモテへの手紙一 3章14～16節

出典: primary, brown

論の流れをたどる

論証は忠実な教えの目標から、公の祈り、指導者の人柄、テモテの模範、組織的な支援、富の使用へ進みます。教会は神の家として描かれ、問うことのできない権威でなく、責任を負う行動が必要です。2章15節の出産に関する言葉には複数の解釈があります。出産の医学的安全の保証や、母親になることで女性が救いを獲得するという主張にすべきではありません。

聖書の参照箇所: テモテへの手紙一 2章1～15節・テモテへの手紙一 4章1節 - テモテへの手紙一 6章21節

出典: primary

愛を生み出す教え

テモテへの手紙ー 1章1～20節

手紙は空論的な教えと律法の誤用に向き合い、パウロに示された憐れみを振り返ります。明示された目標は、清い心、正しい良心、偽りのない信仰から出る愛です。テモテに責任を託すことには、信仰と良心を結び付けて保つことが含まれます。教理の正確さを残酷さの許可にしてはいけません。

考えてみよう

忠実な教えと論争を増やすだけの議論は、どのような実りによって見分けられますか。

祈り、行動、解釈の分かれる指示

テモテへの手紙ー 2章1～15節

すべての人のための祈りは、神の救いの目的とキリストの仲介に基づきます。指示は怒り、見せびらかし、学び、教える権威を扱います。男女の相補性を重視する立場は一般に、教える権威に性別による継続的制限を見ます。男女の平等な奉仕を重視する立場は一般に、地域固有の制約と聖書全体の証拠を強調します。どちらも難しい論証を捨てたり女性の弟子としての学びを周辺化したりせず、本文を丁寧に説明しなければなりません。

考えてみよう

この章が明確に勧めることは何ですか。合意を前提とせず、解釈を比較すべき問いはどれですか。

人柄によって確かめられる指導

テモテへの手紙ー 3章1～16節

監督者と奉仕者の資格は、忠実さ、自制、もてなし、家庭での行動、評判を強調します。職制や、3章11節が女性の奉仕者か奉仕者の妻かについて、教会間で理解が分かります。信用の中心的な基準は、人柄と実証された奉仕です。カリスマ性、富、特別な地位をもつという本人の主張ではありません。

考えてみよう

共同体が才能に感心しているとき、どの資格が最も見落とされやすいでしょうか。

倣う価値のある生活と教え

テモテへの手紙ー 4章1～16節

結婚や食べ物を禁じることへの警告から、感謝、鍛えられた敬虔、聖書の朗読、勧め、教えへ進みます。テモテは行動と教理の両方に注意を払うべきです。若さは責任をなくしません。その成長は、自動的な尊敬を要求するのではなく、継続した実践を通して見えるようになるべきです。

考えてみよう

教師の日々の習慣は、その教える内容の信頼性をどう高められますか。

配慮、敬意、説明責任

テモテへの手紙― 5章1節 – テモテへの手紙― 6章2節

指示は、やもめへの家族の責任と組織的な支援を区別し、長老と告発を扱い、奴隷とされている信徒にも語ります。指導者についての手続きが求めるのは公正さであり、不正の隠蔽ではありません。奴隷制への指示は古代の強制的状況を扱い、人の所有を道徳的理想としたり、奴隷とされた人の尊厳を取り消したりしません。

考えてみよう

教会は、実際の配慮、公正な手続き、不正をかばわない姿勢をどう結び付けられますか。

貪欲のない敬虔

テモテへの手紙ー 6章3～21節

最後の章は、宗教を金銭的利益の道と見なすことを拒みます。満足、徳の追求、神への信頼が、富への依存と対比されます。裕福な信徒は、資源を持つだけで辱められるのではなく、寛大さへ招かれます。その富は優れた信仰の証拠でもありません。テモテへの務めは、学びを忠実に託されたものを管理する姿勢へ立ち返らせます。

考えてみよう

資源を惜しみなく用いることと、そこに安心や地位を見いだすことの違いは何でしょうか。

出典

- [primary] 1 Timothy; primary biblical text. Reading references only; no Bible text is reproduced in this resource. <https://ebible.org/eng-web/1Ti.htm>
- [brown] Raymond E. Brown, An Introduction to the New Testament (Doubleday, 1997), chapter 30. Background and scholarly discussion; not an endorsement of every interpretation in this study.

独自に制作した本文と画像：CC BY 4.0。聖書本文と第三者の素材は対象外です。

Pauline Letters · CC BY 4.0 · <https://paulineletters.com/ja/explore/resources/study-1-timothy>